

呼相ん回こ扱ん担る込まーワし際がし万



モロコの養殖 予定池に看板

美郷で大学生設置

広島市立大国際学部の学生たちが7日、美郷町宮内で、住民有志が希少淡水魚ホンモロコを養殖予定の池の近くに案内看板を立てた。写真。同学部は昨年11月に地元の人たちと池を造成。交流継続を

願うとともに周辺を通る車に取り組みを知ってもらうため作った。

山口光明准教授(健康心理学)とゼミの3年生4人が6日から町を訪問。ヒノキ材(縦27センチ、横80センチ)に「もろこ池」と彫刻刀で彫り、池に通じる坂道に据えた。松島奈都美さん(21)は「広島市南区」は「魚が育って地元で元氣をもたらすきっかけになってほしい」と期待していた。今後は池に鶏ふんをまき、ホンモロコの餌になるプラנקトンを育成。5月下旬から稚魚を育てる。